

# 信毎 ヤンジャ

## 攻略！ニュース検定1級

### 最年少12歳で達成 信大付属長野中1年・松木孝太郎さん

今年6月に受けた「ニュース時事能力検定試験（ニュース検定）1級」に最年少の12歳で合格した信州大学付属長野中学校（長野市）1年の松木孝太郎さん。小学3年生だった2018年から検定を受け始め、20年には2級に最年少の9歳で合格。その後も努力を重ね、3回目の挑戦で今回の達成となった。松木さんに1級合格までの歩みや、どのようにニュースを学び、向き合っているかを伝えます。

### 「知らなかったことを知る楽しさ」から受験 1級は2回不合格を経験…心が折れそうに

私は6月26日に実施された第5回ニュース時事能力検定（ニュース検定）1級に、3度目の挑戦で合格しました。受験会場は松本商工会館（松本市）には10人ほどの受験者がいて、私ともう1人以外は全員大人の人でした。そういった状況に驚いているとはいえ、やはりとても緊張しました。試験終了後は手応えを感じましたが、これまで2回の受験で不合格だったこともあり、時間がたつにつれて自信が薄れていき、逆に「やはりダメかもしれない」と不安が募りました。ですので、後日、公式サイトで「合格」という文字を見た時は、心の底から「やった！」という思いで、本当にうれしかったです。私が初めてニュース検定を

受験したのは小学校3年生の秋です。その少し前の夏休みから開講するようになった小学生新聞で検定のことを知りました。模擬問題で載っている興味を持ってようになり、さっそく5級にチャレンジしました。知らなかったことを知る楽しさを感じ、続けて4級を受検することにしました。4級の動機で4級と3級を同時に受験し、その後4年生の秋に準2級を受検しました。冬には2級に挑戦し、最年少の9歳で合格することができました。1年間続けた五つもの級を受検するところができたのは、興味のある分野について勉強することで、新しい知識が吸収でき、世の中の動向や仕組みが分かるようになるの

が楽しかったからです。ニュース検定の1級と2〜5級では問題の難易度が圧倒的に違います。2〜5級までは公式テキストを読み、公式問題集の問題を解いて勉強していますが、1級は、それらのことをするのはもちろん、日々更新される新しいニュースの背景などを追究していくかなくてはなりません。今回は、6月までに発生した重要なニュースをのねを絞り、それらを詳しく調べてまとめ、また、過去2回の検定で間違えた問題の解き直しもしました。これまでに小学校5、6年の時の2回、1級不合格を経験していて、そのせいで少し心が折れそうになっていました。それに加えて、中学校に

入学して初めての定期テストも重なり、勉強時間を確保するのがとても大変でした。そんな時は、2級合格の際にインタビューしてくださった検定協会の方との「1級合格の約束を思い出し、「今度こそ絶対に合格するぞ」という強い思いが背中を押してくれ、何とかなって乗り切ることができました。

### 次の紙面の記事は？ 新聞めくるわくわく感 政治に興味や関心を持つ世の中 願いながら

私は、物心がついた時からニュース番組や、祖父の読んでいる新聞に興味を持っていました。初めは小学生向けのニュース雑誌を毎月購入していましたが、どうしても新聞を読みたくなって、小学3年生の夏休みから小学生新聞を購読し始めました。よく「新聞とネットニュース」という議論を耳にしますが、私は新聞の方が読んでいると思います。なぜなら、新聞はネットニュースと比べて、どこにどの記事が載っているのかが分かりづらくて、記事の内容をめぐる時に「次の紙面にどのような記事が載っているのだろうか」というわくわく感があります。また、自分の関心になったニュー

ス時事能力検定(ニュース検定)1級(第5回)合格者インタビュー(松木孝太郎さん) 全国の新聞はほぼ毎日購読し、テレビやインターネットでもニュースを見たり聞いたりしています。興味のある分野について勉強することで、新しい知識が吸収でき、世の中の動向や仕組みが分かるようになるのが楽しかったからです。ニュース検定の1級と2〜5級では問題の難易度が圧倒的に違います。2〜5級までは公式テキストを読み、公式問題集の問題を解いて勉強していますが、1級は、それらのことをするのはもちろん、日々更新される新しいニュースの背景などを追究していくかなくてはなりません。今回は、6月までに発生した重要なニュースをのねを絞り、それらを詳しく調べてまとめ、また、過去2回の検定で間違えた問題の解き直しもしました。これまでに小学校5、6年の時の2回、1級不合格を経験していて、そのせいで少し心が折れそうになっていました。それに加えて、中学校に入学して初めての定期テストも重なり、勉強時間を確保するのがとても大変でした。そんな時は、2級合格の際にインタビューしてくださった検定協会の方との「1級合格の約束を思い出し、「今度こそ絶対に合格するぞ」という強い思いが背中を押してくれ、何とかなって乗り切ることができました。



信州大学付属長野中学校1年・松木孝太郎さん(12歳)



「ニュース時事能力検定」1級合格者松木孝太郎さん



松木さんが小学生時代に作っていた手書きの新聞

スを目にすることで、そこから新しい分野との出会いが生まれます。さらに、新聞だと紙の質感を感じることができ、「読んでいる」という実感が湧きます。ネットニュースにも紙面ビューアーというものがありますが、それだと文末の重さしか感じることができないので、「読んでいる」という実感が乏しいです。そういったいろいろな観点から、私は新聞の方が良いと思うのです。私は小学5年生の夏からクラスで学級新聞を個人で作っていますが、それも紙で作ることを念頭に置いています。内容は、基本的にはクラスや学年、学校での行事を主に取り上げたいですが、それがない時は時事ニュースなども

載せています。中学校に進学してからも、学級新聞作りを続けています。今興味があるのは政治と地政学です。政治を知ると、日本の国がどのような仕組みで政治が行われているのかが分かります。ネットニュースにも紙面ビューアーというものがありますが、それだと文末の重さしか感じることができないので、「読んでいる」という実感が乏しいです。そういったいろいろな観点から、私は新聞の方が良いと思うのです。私は小学5年生の夏からクラスで学級新聞を個人で作っていますが、それも紙で作ることを念頭に置いています。内容は、基本的にはクラスや学年、学校での行事を主に取り上げたいですが、それがない時は時事ニュースなども

載せています。中学校に進学してからも、学級新聞作りを続けています。今興味があるのは政治と地政学です。政治を知ると、日本の国がどのような仕組みで政治が行われているのかが分かります。ネットニュースにも紙面ビューアーというものがありますが、それだと文末の重さしか感じることができないので、「読んでいる」という実感が乏しいです。そういったいろいろな観点から、私は新聞の方が良いと思うのです。私は小学5年生の夏からクラスで学級新聞を個人で作っていますが、それも紙で作ることを念頭に置いています。内容は、基本的にはクラスや学年、学校での行事を主に取り上げたいですが、それがない時は時事ニュースなども

い世の中だと思っています。政治に興味を持っていない国民が増えること一部の人の意見のみが政治に反映されて、投票に行かない国民の意見は無視されてしまいます。ですから、将来はほぼ全ての国民が政治に関心を持つ世の中になってほしいと思っています。将来の夢はニュース解読者になることです。池上彰さんのような、どのような世帯にも分かりやすく解説のできるジャーナリストになりたいです。そのために、このニュース検定で得た知識を役立てていきたいです。また、18歳になって選挙権を得た時に、善に投票するかを判断するためにも、その知識を役立てたいと考えています。ニュースは日々移り変わっていくものです。今回ニュース検定1級に合格したことに満足せず、その時の自分の知識を確かめる1日1級受験し、これからも1日1級受験し続けていきたいと思っています。